



川口市立在家小学校



学校教育目標

かしこく やさしく たくましく

令和7年度 合言葉 学びワクワク 笑顔キラキラ 元気モリモリ

道徳の重点目標

- ①物事の善悪についての確に判断し、自ら正しいと信じるに従って主体的に行動する。
- ②相手を思いやるとともに、自分の考えを相手に伝えて相互理解を図り、謙虚で広い心をもつ。

教育活動全体で取り組む道徳教育

他教科との関連

在家小学校では、様々な教育活動が豊かな人格形成につながることを意識して道徳教育が行われています。子供たちは、同学年だけでなく、他学年との交流活動などたくさんの体験活動を通して、物事の善悪や相手を思いやる気持ちを学ぶことができました。

生活科や理科、総合的な学習の時間では、様々な作物や生き物を観察し、命あるものを大切に、自然に親しむ学習を行っています。

考えや意見を共有する中で、より深く考える「学び合い」のスタイルを道徳科でも行っています。友達との話し合いの中で新たな気づきを得たり、自分自身を振り返る機会を多くもったりしています。



1年生を迎える会



なかよしグループ交流会



1,6年ペア遠足



あいさつ運動



3年芝川探索

校内道徳掲示

学びの共同体



道徳科の授業実践

自己を見つめる

児童にとって身近な問題や社会的問題等について問題意識をもち、日常生活の経験や共通体験を想起しながら、自分との関わりの中で考えられるように発問を工夫しています。

多面的・多角的に考える

他者の意見に耳を傾け、道徳的価値を多面的・多角的に考える授業を展開し、自己の生き方について考えを深め、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てています。



道徳資料の共有化

資料室に道徳コーナーを設け、教科書等の場面絵を保管しています。ブロックごとに棚を分け、番号を付けて管理しています。資料をマットフィルムのラミネートで加工し、児童から見やすく、長期使用できるように工夫しています。また、学期ごとに補修や補充などを行っています。

